

さいたまクリテリウム 今年は11月4日(土)開催!

今回で5回目となる2017ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムは、さいたま新都心駅周辺にて開催される。

今年はコースレイアウトも変更になり、よりスピーディなレースが期待される。ツール・ド・フランス2017個人総合優勝 クリス・フルーム選手の出場も決定している。

全カテゴリー観覧エリア入場券付で、カテゴリーによってスペシャルな特典が付いてくるオフィシャルサポーターを募集中。

詳細は、HP <http://saitama-criterium.jp/>



小柳よしふみの 地域活動



浦和区防災アドバイザー協議会で活動中



神輿は夏祭りの華です



外国人女子留学生日本語弁論大会



精神障害者ピアサポーター事業の視察@淡路島



浦和おどりに参加@中山道



生活道路の整備@北浦和

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ!」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jpホームページ <http://koyanagi.jp/>ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

ご来場をお待ちしております!

第25回市政報告会

北浦和クイーンズ伊勢丹3F

日時: 平成29年 **8月27日(日)**

18:30~19:45

会場: 北浦和カルタスホール
第1会議室 北浦和1-7-1

入場無料



さいたま市議会 民進改革さいたま市議団 <http://www.minshinkaikaku.jp/>

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2017.8 vol.26

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

「運命の10年」に向けた 積極的な取り組みへ

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか? 東北・北陸地方の大雨や九州北部豪雨など、大きな自然災害も起こっています。被害にあわれた方々へ、心よりお見舞い申し上げます。

さて、市長選挙が終わって、清水市政3期目の実質的なスタートとなったのが6月定例会です。冒頭の市長挨拶において、これからの10年を街の将来を決する「運命の10年」と位置づけ、未来へ向けた積極的な投資とともに「上質な生活都市」づくりへの決意が述べられました。私も昨年の定例会において「最高の日常を楽しめる街」というテーマで質問をいたしました。問題意識として共感できるものでありました。

その6月定例会は異例の結末となりました。病院建設工事の入札に疑義が生じたことによる調査委員会が設置されました。地方自治法第98条の調査権が付与されたこの特別委員会に、小柳よしふみも所属となります。(関連記事中面) また、議長人事などでも紛糾し、10日間の会期延長となりました。

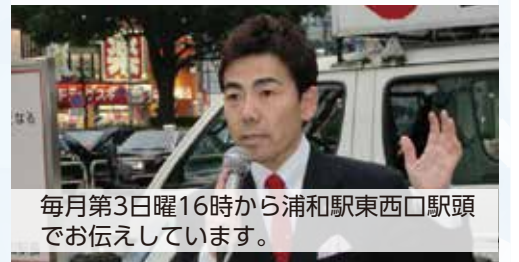
一方、埼玉県議会において、政務活動費の不正使用により議員が辞職いたしました。議員それぞれの活動の、さらなる透明性の確保や会計書類等の公表についての一層の取り組みが必要と考えます。小柳よしふみは、議会レポートの発行や市政報告会の開催などを通じて、活動内容もしっかりとお伝えしてまいります。

最後になりますが、皆さまにおかれましては、ご健康で素敵な実りの秋をお過ごし頂きますよう、お祈り申し上げます。



浦和っ子

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- まちづくり委員会 / 予算委員会 理事
オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会
病院建設工事調査特別委員会
議会広報編集委員会



毎月第3日曜16時から浦和駅東西口駅頭でお伝えしています。

6月定例会は異例の会期延長

6月定例会は、6月30日に閉会予定であったが、7月10日までの会期延長になった。9月定例会は、新藤議長、井上副議長のもとで迎えることとなる。(関連記事 中面)



細田氏が新教育長に就任

細田真由美氏が、さいたま市初の女性教育長となった。細田氏は、市立大宮北高校の校長を経て、4月に副教育長に就任していた。(関連記事 中面)



TOPICS

さいたま国際マラソンは 11月12日(日)開催

国際マラソンとして3回目の開催となる。ゲストラナーとして川内優輝さんの参加が決定。8月3日よりボランティア(15歳以上、6,000名)の募集が始まる。



本間副市長が退任

本間和義氏は、平成25年10月23日に副市長に就任。本市には平成24年4月1日付けで審議監として本市に赴任されていた。5年余に及ぶ本市在籍ののち、この度総務省へ帰任する。



6月定例会 総括



6月定例会は、6月7日に開会し当初は30日に閉会の予定でしたが7月10日まで会期が延長される事態となりました。議案32本、請願27本(5本は継続)の審査を終えましたが、全会派一致が原則の意見書については3本とも上程見送りとなりました。

小柳よしふみは会派を代表して、議案について本会議質疑で登壇いたしました。また、各委員会においても質疑を行いました。本年度より、まちづくり委員会、予算委員会(理事)、オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会、病院建設工事調査特別委員会、議会広報編集委員会の所属となります。また、超党派で構成される条例PT(プロジェクトチーム)メンバーとして、重要施策の条例化に向けた取り組みに参画してまいります。

まちづくり委員会

Q 市街地再開発事業などの基盤整備が完了した後に、市民生活に必要な機能が不足している状況が見られる。担当部局の役割についての認識を問う。

A 事業実施にあたっては、まちの将来像を見据えた計画としていく必要がある。市民生活に必要な機能が不足しないよう、庁内連携をより密にしながら、市民がしあわせを実感できるまちづくりを推進する。



小柳視点 生活する市民や事業者が活動する中において、そのまちにどんな機能が備えられているのかを意識しなければならない。エリアの人口が増えてから、保育所や公園がないなどの問題が生じないまちづくりが必要。

Q 浦和駅周辺まちづくりビジョンはなぜないのか？浦和のまちの特長や個性をどう考えてまちづくりを行っているのか？

A 浦和のまちは、県都・住宅都市・文教都市として発展してきた。浦和駅西口南高砂地区の再開発事業は、駅周辺の一体的な整備完了に向かって進行中。今後は、駅周辺のまちづくりビジョンについてもう少し幅広にとらえていくよう研究課題としたい。



小柳視点 まちづくりは、時間がかかるものだからこそ、特長を生かした20年後30年後を見据えたビジョンのもとに進められるべき。

Q 自転車道レクリエーションルートの整備において、自転車の聖地としてのシンボルともなる拠点となる場所の設置を求める。

A サイクルサポート施設に関しては、整備水準や認定基準に沿った施設の認定や公募を行ってゆく。既存の民間施設や公共施設にスポーツバイク用のラックや空気入れ、貸出工具などを置き、休憩所として機能させてゆく。



小柳視点 サポート施設の整備は良いが、これはすでにサイクリングロードを利用している人向けのものである。近隣のサイクリストが集い、またそこから市内を回遊する拠点としての施設も、自転車のまちさいたま市の活性化には重要と考える。

補正予算議案

不妊に悩む夫婦に対する
検査や治療費の助成

3,882万7千円

事業の周知を行った後、8月頃から助成を開始します。

産後ケアの充実のため出産後の
産婦に対する健康診断の実施

2,893万円

産後うつに陥りやすい産後2週間後を目途に健康診断を行います。

食品事業者による衛生強化の
新たな手法HACCP普及促進

113万9千円

講習会や現地指導とともに、関係者による協議会の開催により、普及促進を図ります。



不妊や産後のケアを充実することは、悩みを抱える方々への大きなサポートとなり、重要である。HACCP(ハサップ)普及に関しては、県と同様に法的根拠を持つ食品衛生推進員を導入して進めるべき。

異例の

市立病院建設工事調査特別委員会の設置 ～建設工事入札に疑義！～

緑区で建て替え工事中の市立病院建築工事において、その入札を巡る総合評価方式の審査過程において不透明な点があり、議会で調査を行うこととなりました。その調査には、地方自治法第98条に基づく強い調査権を付与し、新たに「病院建設工事調査特別委員会」を設置して行います。政治の関与があったのか、行政の公正さは確保されていたのか、小柳も委員としてしっかりと調査をしてまいります。



精神障がい者施策の 充実へ向けて

国の医療計画においてあげられている5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)への施策がなかなか進んでいない状況の中、本市においても徐々に取り組みを始めている。昨年度までの知的障害者相談員(8名)、身体障害者相談員(21名)制度に加えて、精神障害者相談員(10名)制度が始まった。お問い合わせは、各区の障害支援課まで。また、障害福祉新任職員制度において、当事者のおかれている現状について、関係者からレクチャーを受ける取り組みも始まっている。



細田新教育長へ提言書を提出



平成31年4月に中等教育学校(中高一貫校、募集は中学入学時に行われ、高校進学時点では行いません)として開校される予定の市立大宮西高等学校の校舎建設が進んでおります。この中等教育学校は、国際基準の教育プログラムを実施する「国際バカロレア(IB)認定校」を目指しており、その実現へ向けた要望書を会派として提出いたしました。

要望内容
①IB教員の養成・確保
②IB候補校段階での授業の実施
③IB認定取得とそのために必要な人員の配置

感震ブレーカー設置補助制度が開始



大地震の際の火災の大きな要因は、電気火災(通電火災)である。それに有効とされる感震ブレーカーの普及支援策が開始となる。各地区の自主防災組織育成補助金の対象となり、4分の3が補助(上限50万円)となる。また、この製品は、製造メーカーのご協力をいただいて、市の関連する障害者就労支援施設で製作・販売され、障害者の就労支援の一助ともなっている。これまで私が地震災害対策の一つとして取り組んできたものが制度化された。